

選定に当たっての4つの視点

技 術

- ・治山技術や土木技術の進展に貢献したもの（規模の大きさ、難易度の高さ、工法の新規性、希少性、当時の技術の代表）

事業の効果

- ・防災等の効果が顕著に表れたもの（災害を未然に防止、被害の拡大防止）

地域への貢献

- ・地域社会の発展に寄与したもの（農林漁業の振興、住宅、宅地、観光地、文化財、景観等の保全、交通の確保）

人々の記憶

- ・記録や記憶、社会的な話題性などが高いもの（歴史・文化、社会的な話題性、関係者の努力や苦労、地域の絆）

国民や関係者の理解の視点を考慮

- ・地元関係者の推奨（市町村、林業関係者等）
- ・アクセス（森林や施設へのアクセスが容易、全体を概観できる場所がある）
- ・わかりやすさ（整備前後の写真等）
- ・地域の愛着（住民等の参加）